

2021年はスマホ学習の強化

・HP資料は、パソコンやPDF打出の紙ベースの学習を前提とした資料である。

・スマホ対応としては、「6章 スマホ対応1問1答」がある。

・2021年からスマホ対応の学習を強化するため新しい2つの講座を開始する。

(1) 2021年1月から2章過去問20年のポイント一覧表の音声読上を開始

(2) 2021年4月から1級建築士YouTube講座としてパワーポイント音声解説を開始

・(1)は2021年中にアップ完了予定、(2)は会員増加※により適宜公開する。

※(1)音声読上および(2)音声解説は、音声化に外注費がかかり、会員増加(外注費確保)に伴い運動アップ(会費は全額を運営費へ充当)。

令和元年度 問題1	
建築及び都市の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	
1	ゾーン別では、複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けず他人同士でいよするよう位置関係がよい。
2	モバイルデバイスとは、全ての人を対象としたものであり、壁や天井、車輪や筐体の違い、身体機能の差等に関係なく、可能な限り誰もが利用できるデザインをいふ。
3	インテグレーションは、建築物自体の配置・形状、窓の大きさ等を工夫することにより、建築物内外と自然環境や気象や光等の関係を制御し、健康・快適・省エネルギー等を確保することも可能である。
4	スマートフォンは、広義では「都市計画と建築設計」に対して、情報通信技術を応用した、さまざまな用途、用途、用途・用途等が可能な、広義の建築計画に関する情報通信端末又は端末をいふ。
解答 (正解1)	
1	複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けず他人同士でいよするよう位置関係は、ゾーン別ではなく、ゾニアゾーンである。
2	
3	RIの計画の問題1
4	

(1) 2章過去問20年のポイント一覧表の音声読上

ポイント一覧表は、多くの会員から高い評価を受けている。その中で数名の会員が、このポイント一覧表を自分で音声化して通勤電車内で聴きながら学習したと連絡を頂いた。その中の1名(R2受験合格)の方へ、外注依頼して音声化し、2021年1月からHP内で公開することにした(実際のアップは2020年12月と1ヶ月早まった)。外注費はかかるが高額でないこと、資料が既に完成していることから、2021年6月頃を目標に5科目全てをアップする予定である。

ポイント一覧表は、過去問を全て正解文へ変更して項目別に箇条書きでまとめたものである。過去問20年と記載しているが、毎年追加していることから、実質H7～R2までの26年間の問題の箇条書きとなっている。このポイント一覧表は、全てが正解文であることから、ここを熟読すると試験時に間違っている問題を読んだときに、「違う」と直感的に感じるようになる。

今回公開している音声読上は、各科目ごとと各項目別に音声化した。例えば、「I 計画」なら「1設計手法」～「18マネジメント」の18項目に分かれている。1項目が5～10分程度であり、また時間が見れることから、様々な状況の都合を確認しながらスマホでの学習ができる。更に、PDF一覧表を打出して手元に用意すると、「見て聞いての学習」も可能である。この音声読上の効率的な活用は、通勤電車内のスマホ学習であると言える。仮に、通勤時間が30分程度として、1年間の往復通勤時をこのスマホ学習にすると、これだけでも1年後には限りなく90点に近づくものと思われる。

(2) 1級建築士YouTube講座でのパワーポイント音声解説

HPを開設してから早7年目となり、会員も少しずつ増加する状況となった。研究会は、当初からの念願であった「音声解説」を2021年4月から開始する。実行委員で協議した結果、少しでも費用を抑えるため「YouTube」を活用し、資料をYouTube(1級建築士YouTube講座)にアップしてから、HP内で容易に学習できるよう運動公開する。

パワーポイント音声解説は、学科(I 計画・II 設備・III 法規・IV 構造・V 施工)について、「7章項目別の重要解説」と「9章用語解説」を参考にしつつ、出題確率の高い項目を1つにつき5分程度で終了するよう取りまとめる。また、解説内容は膨大であることから、アニメーションや人間による解説などは一切せず、愚直にオリジナルとなる分かりやすい図等をパワーポイントで音声解説する。

このパワーポイントの音声化では、長年学習教材の音声作成ソフト等を手掛けている会社へ委託する。ネット上では、パワーポイント音声化の無料ソフト等もあるが、膨大な量であること、研究会(実行委員)にこの種の技術者がいないことから、多少の費用は覚悟の上で委託製作することにした。また、著作権への対応から全ての図等をオリジナルとして製作することと、外注費の確保(会費)が必要であることから、その状況を踏まえて2021年4月から適宜公開する。研究会は利益を追求する企業ではないことから、会費(YouTube広告費含む)は全額運営費へ還元する(収益は全てHPの内容向上へ還元し、年会費は2万円/年は値上げをしない)。

以下は、従来からの解説内容

1. スマホ&パソコン学習の勧め

建築業界は、本当に忙しい。

その中で、合格率10~20%の1級建築士(学科)に合格するには、学習法を「工夫」しなければならない。

一般書籍の「項目別解説書」や「過去問7年間の解答書」をひたすら学習する等では、合格率10~20%を突破できない。

⇒項目別解説書はあまりに情報量が少なすぎるし、過去問学習で学科を突破するには、過去問20年の学習は必要である。

資格学校に通学しても合格できるとは限らない。

⇒週1通学の共通学習法では、合格率10~20%突破は厳しい(通学受講料もあまりに高額)。

合格するには、万人に平等の「時間」を、自らの意思で少しでも1級建築士の学習に割振り、効率よく学習する必要がある。

研究会は、HPの内容を何時でも何処でも効率よく学習できるようにするため、「スマホ&パソコン」でHPを見れるようにした。

なお、全ての資料はPDFにしていることから、印刷して持ち歩くこともできる。

※1級建築士は、受験すると決意した瞬間から、持ちうる全ての時間をかけて学習しないと合格できない。

2. スマホ学習の勧め

・スマホ学習とは、何時でも何処でも学習できるスマホを活用し、HP内容を学習することである。

・その学習例は、以下の通り。

- ① 通勤中の電車内でスマホ学習(通勤電車時間が30分なら往復で毎日1時間の学習)
- ② 待合せ時間にスマホ学習(集合時間に少し早く着いた場合、5分でもよいので、その時間を活用して学習)
- ② トイレの中でスマホ学習(午前1回15分、午後1回15分、毎日必ずトイレに籠ってスマホ学習=習慣化させる)

3. パソコン学習の勧め

・パソコン学習とは、自宅や会社のパソコンを活用して、HP内容を学習することである。

・その学習例は、以下の通り。

- ① 自宅のパソコンで土日祭日にHPパソコン学習(休日は朝起きてから食事トイレ以外の全ての時間をHP学習可)
- ② 会社のパソコンで昼休みにHPパソコン学習(昼食30分終了での30分学習=書籍不使用=周囲に配慮した学習)
- ③ 会社のパソコンで勤務時間中にHPで、勤務中に建築一般知識の調査としてHP活用学習(業務&1級の同時進行)

※全ての資料(PDF)は、カラーコピーで打出してから学習することも可能⇒パソコン学習&ペーパー学習の同時進行

4. 「1級建築士の学科試験」を突破するには

・学科試験は、過去問20年を学習すると、100点超えが可能である。

・他方、市販書籍で過去問20年を単純に解くのでは、非常に時間を要する(そもそも過去問20年の書籍を探すのが大変)。

・研究会は、過去問20年を項目別一覧表にまとめており、この資料を活用することで効率よく学習することができる。

・更に、効率を高める学習法としては、スマホ&パソコン学習が有力である。

※学科試験は、資格学校へ通学しなくても合格できる(資格学校への通学時間も学習に充てる方が高得点に繋がる)。